

## 第53回東北大会予選敗退

最少失点で勝利すれば決勝トーナメント進出か?

10回タイブレイク 5対4で敗退

IMF BANDITS 富山	1	0	0	0	0	0	2	0	0	2	5
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
明治安田生命	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	4

バッテリー

IMF BANDITS 富山 ○上野(10回4失点) — 大川  
 明治安田生命 新井(6回0/3 3失点) ●北濱(4回2失点)—岸本・森川  
 二塁打 大川 IMF BANDITS 富山  
 高瀬・新城 明治安田生命

ユウチュウブのライブ中継での観戦は一球速報ネットより立体感がある観戦が出来ました。

試合は初回 IMFBANDITS 富山(以後 IMF と記述)は1番内野安打で出塁、盗塁無死2塁2番のショートゴロの間に1死3塁。次打者3番を三振に打ち取るも4番にセンター前タイムリーで先取点を献上5番中飛抑えた。明治安田生命(以後明治安田と記述)は1・2回三者凡退。

3回7番高瀬の二塁打8番岸本の右飛で高瀬3塁へ9番日置のレフト適時打で同点とするも1番橋内センゴロ併殺打同点止まり。5回1死後7番高瀬四死球で出塁8番レフト安打1死2・1塁、2死後1番橋内ライト前タイムリー2対1続く2番新城ライトへ適時二塁打3対1とリード。

7回 IMF は先頭打者4番ショート内野安打5番ライトエラー無死3・1塁6番三振1死3・1塁7番ライト適時打2対3、ライトがホームへ悪送球で1塁ランナーホーム3対3の同点。

以後得点なく10回からタイブレイク無死2・1塁から試合再開。IMF は打順9番から9番送りバンド成功1死3・2塁、1番投手前スクイズ成功1点投手エラー2塁、2番スクイズ失敗2死2・1塁、投手ワイルピッチで3・2塁、3番ライトへタイムリー2点目その間2塁ランナーホームを狙うもライト好返球でランナーを刺す。

明治安田は2点を追って2番から無死2・1塁で反撃、2番新城キッチリ送り1死3・2塁として3番へ繋ぐ3番D・Bで1死満塁4番に期待一打同点長打ならば逆転と期待もライト犠飛で1点5対4、5番鈴木(7回から泉澤に代わって)に最後の期待もセカンドゴロで5対4で敗れる。

「ツチダの独り言」

	シート	氏名	打数	安打	得点	打点
1	二	橋内	5	1	0	1
2	中	新城	2	1	0	1
3	指名	福岡	4	0	0	0
4	左	森	4	1	0	1
5	右	泉澤	2	0	0	0
	中	鈴木	2	0	0	0
6	中・右	永廣	4	0	0	0
7	遊	高瀬	3	1	2	0
8	捕手	岸本	2	1	1	0
	代走	鈴木	1	0	0	0
	捕手	森川	0	0	0	0
9	一	日置	4	2	1	1
		計	32	7	4	4

この試合は最少得点に抑えて勝てば決勝トーナメント進出を賭けた試合。

7回ライト失策2つ・10回投手バンド処理の失策。2回・4回の盗塁失敗。

3回・7回の併殺打、10回のワールドピッチが悔やまれる

ライブ中継からの観戦なので何とも言えないが打撃陣について2ストライク後の打撃に工夫が感じられない。センター中心に向けたコンパクトなスイング等

パソコンのスピーカーから聞こえてくる声はIMFBANDITS 富山のベンチチームに勢いを感じ明治安田生命の声は聞こえなかった感じがする。

都市対抗野球大会東京都二次予選前の公式戦は終了したことを踏まえて問題点を浮き彫りにして対策を講じてほしい。

以上は岡目八目で勝手なことを述べましたがご寛容下さい。

先ず全府中倶楽部との闘い勝ち、次なる予測のセガサミーは東北大会では着実にな試合運びで決勝トーナメント進出を果たしている。

セガサミー戦に勝利しなければ東京都代表は・・・・？

オーブ戦2試合、対ヤマハ戦・ヤクルト2軍戦は全力挙げて投打のバランスを保ち戦ってください。

5月22日の全府中倶楽部の戦いに期待して2時間かけて応援に大田スタジアムへ参ります。

2023年5月12日

土田唯雄